

岡山県山岳スポーツクライミング連盟（OMSCA）への加盟について

ここ３年の懸案となっていた OMSCA への加盟について説明します。

まず、加盟と加盟団体の関係ですが、上下関係はありません。連盟は各々の加盟団体から、役員を選出し、その役員が連盟としての活動の方向性等について議論し運営をします。

１）なぜ加盟か？目的とメリット

- ・登山愛好者とトレイルランナーは同じ登山道環境を共有している
- ・山でのアクシデントに対しての講習会など、協力し、開催できる
- ・トレイルの保全活動などで協力できる
- ・イベントの場所を探す際、OMSCA の団体であることで理解が得られやすくなる
- ・今後のジュニア育成や競技化などを見据えてスポーツ協会への窓口となる

２）加盟に伴う役割と負担

- ・加盟についての年度費用、団体分担金 10,000 円、個人負担 400 円（１人）
- ・OCMSA の理事会等運営会議への参加（代表者）

３）加盟後の OTRA の活動

- ・下記概要のように OCMSA の活動は各団体の個別活動が中心となっている
- ・OTRA の活動は今まで通り、OTRA が企画運営する
- ・低体温症対策や冬季登山などの講習参加が可能となる

４）その他

- ・すでに王子ヶ岳でのイベントでは交流が始まっている（OMSCA 会長は OTRA 会員）
- ・県内トレイル大会への協力もいただいている（Forestrail のエイド、大会参加など）
- ・トレイルランニングから登山に志向が変わっても同じコミュニティとして活動できる
- ・登山の長い歴史で培われたノウハウの蓄積や考え方には学ぶ価値がある
- ・そのほか万一の場合には捜索などの相互協力も可能

岡山県山岳スポーツクライミング連盟の概要

①加盟団体（272 名、13 高校）

岡山山の会 12 名
岡山大学山岳会 22 名
岡山岳友会 2 名
倉敷山の会 66 名
玉野市役所親和会 山岳部 6 名
倉敷山好会 17 名
みつがしわ山の会 32 名
備前ハイキングクラブ 37 名
高梁川流域クライミング交流会 12 名
岡山アルパインクライマーズクラブ 12 名
岡山フリークライミングクラブ 54 名
高体連 13 校

②活動概要

- ・すべてが行われているわけではありませんが、
自然保護委員会による全国自然保護委員長会議、自然保護の集いへの参加、
指導委員会による審判育成や公認コーチ育成事業への参加、
海外委員会による海外登山懇談会への参加など
- ・岡山大学と岡山大学山岳会と大山山の家の改修事業
- ・各所属山岳会様が各自行っている定期山行や清掃登山など
- ・スポーツクライミング部による国体参加、アスリートパスウェイ事業*など
- ・高梁川流域クライミング交流会による岩場清掃及びボルト打ち換え作業

③理事会・総会活動

理事会については概ね 2 ヶ月毎を目途に理事長が招集ということになっています。
現状は定期的に開催というより、各所属山岳会などからの要望を受け開催している。
総会は毎年 4 月頃に開催。
会議は、オンラインと対面のハイブリット形式での開催を採用している。

*「子どもがスポーツに触れてからトップアスリートになるまでの道すじ」を支援する国の事業